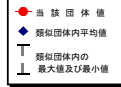


# (6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

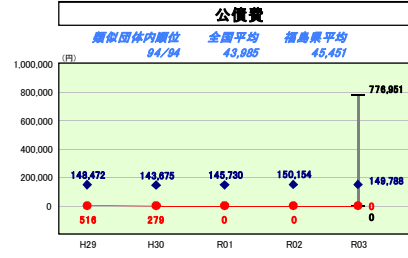
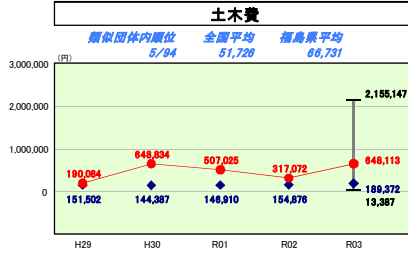
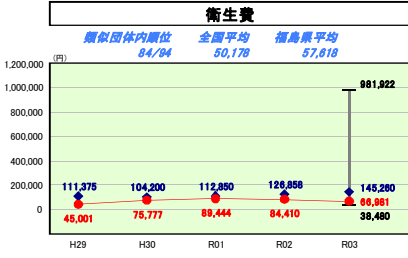
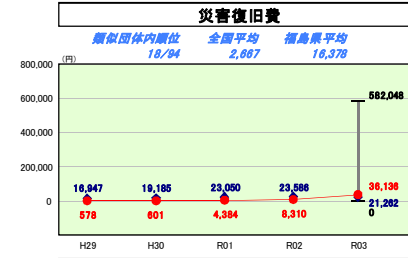
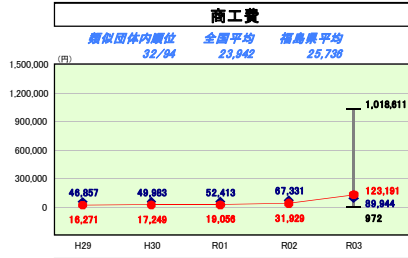
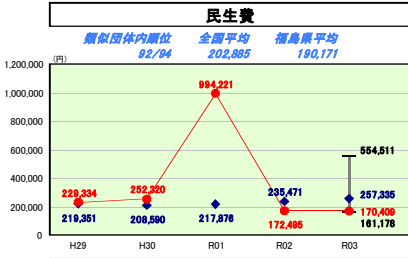
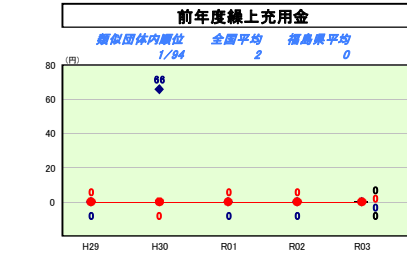
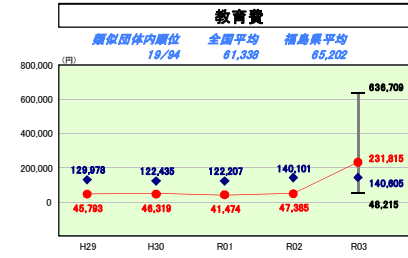
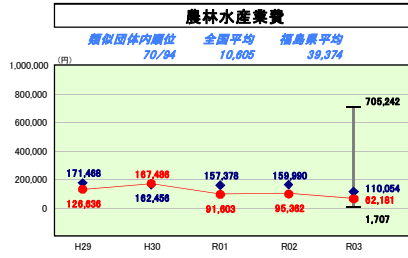
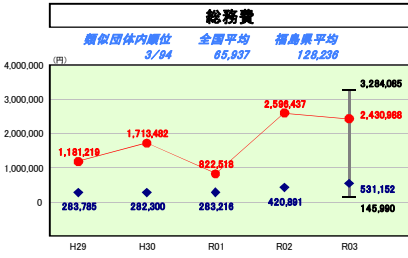
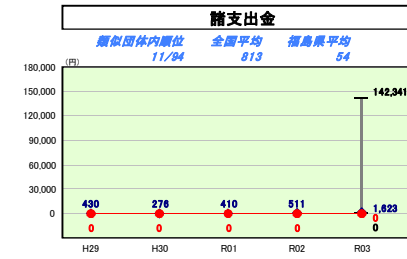
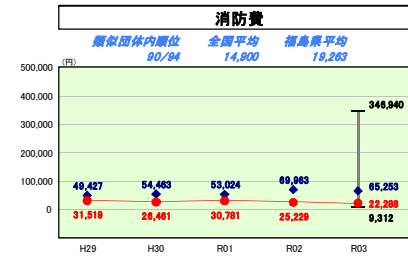
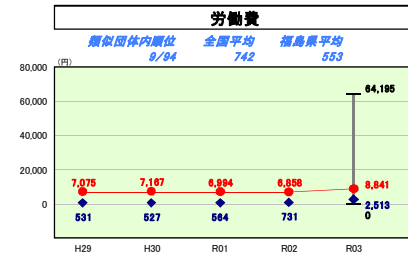
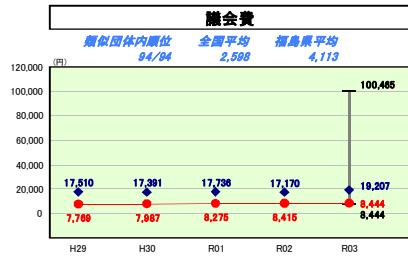
令和3年度

福島県大熊町

人	10,180人(R4.1.1現在)	実質赤字比率	-	%	
うち日本人	10,115人(R4.1.1現在)	通算実質赤字比率	-	%	
面積	78.71k㎡	実質公債費比率	-2.2	%	
歳入総額	43,107,963千円	得業負担比率	-	%	
歳出総額	38,703,372千円	市町村類型	H29 I-O	H30 I-O	R01 I-O
実質収支	565,996千円	(年度毎)	R02 I-O	R03 I-2	
標準財政規模	5,282,193千円				
地方債残高	0千円				



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和3年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



## 目的別歳出の分析

性質別と同じであるが、住民一人当たりのコストは3,541,257円となり、前年と比較して147,353円増となった。要因としては、総務費が類似団体よりも依然として高い水準にあり、基金取崩事業のための積立金などについて前年度比165,449円減となったが、復興事業の増加により土木費で復興拠点整備事業など前年度比331,041円増、教育費で教育施設整備など184,430円増により、住民一人当たりのコストが上がっている。